

# 「堂々川；人も自然も生きている II」

2023（令和5）年4月19日 堂々川ホテル同好会情報誌 2022年度第10号（創刊216号）

1. 4月16日定例会16人参加で実施しました。
2. 今回から作業開始に集合写真終わりは全員10時30分集合と決めた反省会はだめだった

今回も猪被害が多く、1番砂留川原から6番砂留下方迄、彼らの思うように掘られました。対策の電気柵と濃紺リボン設置は忙しく、渡辺さんが設置してくださいました。この19日御野小60数人が学校からごみを拾いながら堂々川3番川原に来訪彼岸花球根を植えて貰います。その場の整備や溝堀をしました。会員は今回も5番砂留下方の日干し球根の補修をしました。松岡県議のご配慮で我々管理の最下流の川沿いの斜面の木の伐採が行われ又福山市さんが車を駐車できにくい対策をして貰えてからごみのポイ捨ては大幅に減りました。

### 3. 目で見える事例



作業後のメンバー集合



ご寄付の桜の切株ハート型



川の斜面 木の伐採



八重桜がきれいに咲いています



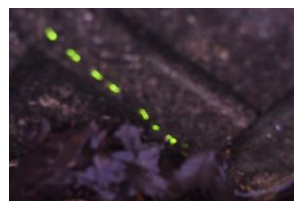
先月も補修した場



御野小児童が植える場



4月5日ホテル上陸開始



ソメイヨシノが満開の雨の夜



ごみ拾い 45分 1袋半

### 4.次回定例会

5月14日（日曜日）集合場所 1番砂留 8:00~10:30

作業内容：猪被害場所の修復 砂留整備 迫山橋下流川の両岸斜面のごみ拾い

5. 発行責任者 堂々川ホテル同好会 会長 中山晋一

6. 会の活動を行う為保険に入ります。参加される人5月12日午前中には連絡をお願いします。ラインが会の連絡網です。調整さんに参加の有無を入れてください。

**注意 堂々川中流域は猪防御のため電気柵を設置しています。特に5月20日**

**頃からホテルが光ります。電源は切りますがコードには注意を！！！！**

# 会の活動名「ホタルと花と砂留と」

堂々川ホタル同好会の創立は2004年6月5日。設立は2006年4月当初はホタルを飛ばす事が目的でしたがあまりにもごみが多く、ホタルは黒い流れのある水では生きてはいけないので会員は川の中や谷のごみを拾うことが中心でした。又2006年8月には堂々川の砂留16基の内8基が国の登録有形文化財に登録されました。

アア、あれから19年事務局長から会長を務め引退表明したがまだごみ拾いが専門の人は引退できずにいましたがついには4月2日卒業式を会費制で開いていただきました。その場面と環境の事を以下に記載します。

## ◎ 堂々川ホタル 幸せの一ページと悲しい出来事



会費制の慰労会を兼ました



おめでとう砂留女史 祝婚約



堂々川はフジが満開



環境 絶滅危惧Ⅱ類セトウチサンショウウオ



イボタガ



ヤママユガ



猪の暴挙に負けず！



捕獲する人が減っても



花を保護しています

なのに、電柵を邪魔したり、たばこを捨てたり、それでいいのでしょうか。



堂々川ホタル会員の努力で川周辺は綺麗になっています。しかし先出の猪(4x4)や頭の黒い人間の仕業には閉口しています。左の「花の土」確か8袋置いたはずが！ネズミが引くみたいに1つ減り2つ減り、ついに3袋になっています。300円以下のものです。小学生が球根を植える際に使います。

ここには監視カメラが付けてあります。分析して発表しても良いですか？